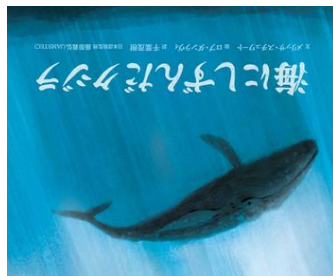


一頭のクジラが死に、海のそこ
にすみしました。クジラのからだ
は、深海にくらすさまざまな生き
物に食べられ、多くの命をささ
えます。海のそこで、命がついて
いく様子をしようかします。

『E 海にしずんだクジラ』
メリッサ・スチュート／文
ロブ・ダンヴァイ／絵
千葉茂樹／訳
BL 出版



右足をけがしてしまつたリョウ
太は、サッカークラブの先輩メン
バーにえらばれませんでした。
自分が出ないしあいなんて、意味
がない！ リョウ太はくやし
くて、友だちにひどいことを言っ
てしまいます。しあい当日、リョウ
太はクラブへ行かずに、川原に
下りました。するとそこで、セニ
ソと名乗るおじいさんと出会いま
す。おじいさんは、リョウ太がな
んでいることを見ぬいて、心がか
るくになるじゆつを見せてくれまし
た。

『K913 センニじいさん
しゆぎようちゆうい』
横田明子／さく
おしのともこ／え
国土社



『E どうぞめしあがれ！』



佐野・ブーゼルダ・
マリア／原案
松田奈那子／文と絵
ほるぷ出版

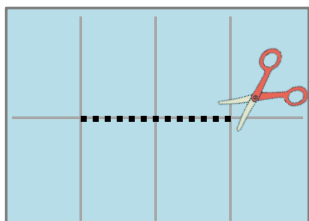
マリアは、モロッコという国に住ん
でいます。マリアのお母さんは、日本人
です。日曜日、友だちのアミンがパステ
イラ（モロッコのでんとうりょうり）
をおすそわけしに来てくれました。次
の日曜日。今度は、マリアがとりのか
らあげをおすそわけしに行きます。「シ
ュ克蘭！（ありがとう）」「ビサハウ
ラハ！（どうぞめしあがれ）」モロッコ
では、おいしいものをみんなで分け合
います。

『K913 ねこねこがっこう』



荻田澄子／作
つちだのぶこ／絵
文溪堂

ゆうくんが、うちをぬけだした
ねこの〈にゃお〉の後をつけてい
くと、ついたのは日曜日の学校で
した。休みの日の学校は、ねこで
いっぱいです。にゃおは、ゆうく
んに「ねこねこがっこうにきちゃ
だめだよ」と言いました。ねこの
学校にいる間だけ、ゆうくんは
ねこの言葉がわかるのです。



紙を8つにおいて、半分にひろげて
ね。てん線のところに、ハサミで、き
りこみをいれて、くみたてれば、本の
かたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

<ホームページもみてね！>

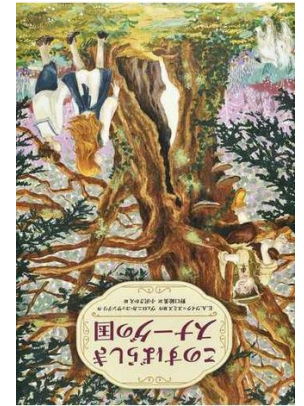


2023年
11月号



野口絵美／訳 徳間書店
ヴェロニカ・コッパン／作
E.A.ワイク＝スミス／原作
スナークの国』

K933 『このすばらしき



フロラとピップは、身寄りのない子が暮らす施設で暮らしています。ある日、フロラは、あやしい女と大男にさらわれそうになりました。二人はにげていくうちに、別世界へと迷いこんでしまいます。そこには施設をクビになったスナークと、人間より体が小さく、少しまぬけだけれども心優しく、勇敢な種族のこと。規則だらけの施設へ帰りたい二人は、ゴルボにスナークの国へ連れて行って、とたのみま

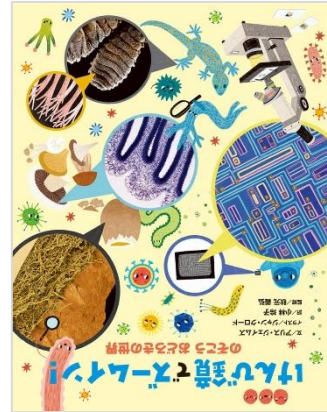


K933 『海のこびとと

ガラスびんの伝説』
サリー・ガードナー／作
リディア・コーリー／絵
中井はるの／訳 ポプラ社

海のこびとたちは、人間が捨てたものを使って楽しく暮らしています。ある日、冒険家ティドルダムが数年ぶりに帰ってくることを知ったこびとたちは、かんげいする準備を始めました。こびとたちが暮らすラビッシュ島では、特別な仲間をむかえるとき、10本のガラスびんでできたボトルラマという楽器を演奏します。こびとたちは、ティドルダムが島に着く前にボトルラマを完成させようと、島中のガラスびんを一生懸命探しました。

K460 『けんび鏡でズームイン！』
アリス・ジェイムズ／文
ジャン・クロード／イラスト
ジョセフ・シヤトルワース／原書監修
岩崎書店



わ く わ く
本 だ な



2023年
11月号

4 5 6 年

あなたは、部屋のすみにたまったほこりが何でできているか知っていますか？ けんび鏡を使ってよく見てみると、かみの毛、小麦粉、植物のかげら、花粉、人間のひふまで、いろいろなものでできているのがわかります。この本では、砂糖や氷の結しよう、池の水にひそむ小さな生き物たち、私たち人間の細ぼうの形などを、拡大した写真と一緒に紹介しています。

紙を8つにおって、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみたてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

<ホームページもみてね！>

